水俣学研究センター研究活動の記録

（2013年４月～2014年３月）

目次

Ⅰ．水俣学研究センター刊行物
Ⅱ．国際フォーラム
Ⅲ．水俣学講義
Ⅳ．公開講座
Ⅴ．公開セミナー
Ⅵ．シンポジウム
Ⅶ．研究会
Ⅷ．原田正純追悼展
Ⅸ．共催

Ⅰ．水俣学研究センター刊行物

１．新日本窒素労働組合機関紙『さいれん』復刻版　第６回配本
　2013年７月10日発行　監修：花田昌宣・山本尚友
２．水俣学ブックレット
　⑩「水俣病と向きあった労働者の軌跡」花田昌宣・井上ゆかり・山本尚友著
　　2013年６月26日発行
　⑪「水銀ゼロをめざす世界　水銀条約と日本の課題」中地重晴著　2013年10月５日発行
３．「水俣学通信」第32号～35号
４．水俣学研究紀要「水俣学研究」第５号　2014年３月
５．「『さいれん』復刻版刊行記念シンポジウム報告書」井上ゆかり編著　2014年３月
６．「人と鉱山　ルーイの未来」宮北隆志監訳　2014年３月
７．「活性化するタイの地域健康影響評価ＣＨＩＡ」宮北隆志監訳　2014年３月

Ⅱ．第２回　環境被害に関する国際フォーラム
－水俣病・失敗の教訓を将来に活かす－

日時　2013年９月５日～９月８日
共催　総合地球環境研究所
後援　熊本市・水俣市
協力　日本環境会議

９月５日
会場　熊本学園大学高橋守雄記念ホール（14号館１階）
基調講演「水俣病の教訓を活かす」丸山定巳（熊本学園大学水俣学研究センター顧問）
特別講演「フタバから遠く離れて」井戸川克隆（前福島県双葉町長）

セッション１
被害の全容と地域社会への影響、現地からの実態報告
「趣旨説明」宮北隆志（座長・熊本学園大学水俣学現地研究センター長）
「水銀汚染と共に生きて」ジュディ デ シルバ（カナダ・グラッシーナロウズ環境委員会委員長）
「環境への警鐘と回復」ペンチョム セーターン（タイ・EARTH 事務局長）
「韓国におけるフッ化水素酸流出事故」イ ユングン（韓国・ウォンジン労働環境健康研究所副所長）
「台湾の中国石油化学開発安順塩素アルカリ工場の過去と将来」
　フゥァン ファンヂャン（台湾・中華医事科技大学看護科准教授）
「水俣を手本とし、淮河を「解毒」する」
　フオ ダイシャン（中国・淮河水系生態環境科学研究センター）
「阿賀のほとりで共に生きる」旗野秀人（新潟・新潟水俣病安田患者の会事務局）
「水俣病と水俣学の試み」花田昌宣（熊本学園大学水俣学研究センター長）
「胎児性水俣病の現在からみる、水俣病補償救済制度の課題」
　田尻雅美（熊本学園大学水俣学研究センター研究助手）
「水俣北部のある漁村における水俣病の現状と漁業」
　井上ゆかり（熊本学園大学水俣学研究センター研究助手）
「「円卓会議」のゆがみと水俣病の教訓」藤本延啓（熊本学園大学社会福祉学部講師）
「総括」宮北隆志（座長・熊本学園大学水俣学現地研究センター長）

９月６日
会場　熊本学園大学高橋守雄記念ホール（14号館１階）
特別講演２　「日本の環境問題の現状と課題」
　　淡路剛久（立教大学名誉教授・日本環境会議前理事長）
セッション２
被害発生と拡大防止、被害補償と住民の闘い
「被害補償と住民の闘い」佐藤英樹（水俣・水俣病被害者互助会会長）
「水俣病被害と補償、現在における矛盾と課題」
　谷　洋一（水俣・NPO 法人水俣病協働センター理事）
「原発に「ふるさと」を奪われて」長谷川健一（福島県飯館村酪農家）
「マプタプット工業団地における公害と住民の闘い」
　ノイ ジャイタン（タイ・マプタプット市ゴッコック村住民代表）
「カナダにおける人種的な環境差別」ソア アトキンヘッド（カナダ・ウィニペグ先住民連帯運動）
「ＣＰＤＣ社安順工場、汚染地区復旧の現状」
　リン ジー ジン（台湾・安順地域環境汚染被害者自助組織委員長）
「亀尾フッ化水素事故事例」イ ドンシク（韓国・亀尾ＹＭＣＡ事務総長）
「河川保護：中国ＮＧＯの行動」ワン ミン（中国・清華大学公共管理学院教授）
「総括討論・まとめ」花田昌宣（座長・熊本学園大学水俣学研究センター長）
セッション３
現状から将来への展望
「安順訴訟の分析」ワン ユーヂォン（台湾・国立成功大学法学部教授）
「カナダ先住民の闘いと女性」パメラ マンダミン（カナダ・ホワイトドッグ居留地住民）
「新潟水俣病の半世紀を振り返って」斎藤　恒（新潟・木戸病院名誉院長）

「東京電力福島第一原発事故の被害者救済をめぐる法政策」
　福田健治（福島・弁護士/SAFRAN 副代表）
「韓国のフッ化水素ガス漏れ事故」キム ヤンホ（韓国・蔚山大学医学部教授）
「タイと水俣の教訓」スリチャイ ワンゲオ（タイ・チュラロンコン大学教授）
「総括討論・まとめ」中地重晴（座長・熊本学園大学社会福祉学部教授）
「総括提起」花田昌宣（熊本学園大学水俣学研究センター長）

９月８日
会場　水俣市もやい館ホール（３階）
提言
「水俣水銀条約の課題について」中地重晴（熊本学園大学社会福祉学部教授）
患者・住民からの訴え
　近　四喜男（新潟・新潟県立環境と人間のふれあい館語り部）
　坂本フジエ（水俣・水俣病被害者互助会副会長）
　坂本しのぶ（水俣・水俣病患者互助会会員/胎児性水俣病患者）
「カナダ、北マニトバの水力発電開発及び水銀汚染」
　ピーター カウチスキー（カナダ・マニトバ大学教授）
パネルディスカッション
　水俣病・失敗の教訓をアジアに活かす　各国より報告
「総括」中地重晴（座長・熊本学園大学社会福祉学部教授）
　　宮北隆志（座長・熊本学園大学水俣学現地研究センター長）
「大会宣言採択」

Ⅲ．水俣学講義

第12期　水俣学講義
　日時　2013年９月26日～2014年１月23日
第１回　９月26日「水俣からのレイトレッスン：水俣学への導入」
　　花田昌宣（熊本学園大学教授・水俣学研究センター長）
第２回　10月３日「水銀に関する水俣条約外交会議とは何か、どんな条約なの？」
　　中地重晴（熊本学園大学教授・水俣学研究センター研究員）
第３回　10月10日「亡き母の水俣病を認めさせた36年間の闘い」
　　溝口秋生（溝口訴訟原告本人）、高倉史朗（溝口訴訟を支える会）
第４回　10月17日　ＤＶＤ上映
第５回　10月24日「水俣への旅がはじまりだった」
　　小林　茂（ドキュメンタリー映画監督）
第６回　11月７日「『みなまた』と私」
　　宮井正彌（姫路独協大学特別教授）
第７回　11月14日「チッソ労働者は水俣病にどう向きあったか」
　　石田博文（元新日窒労組執行委員）
第８回　11月21日「記憶と忘却～水俣病を取材する理由」
　　東島　大（ＮＨＫ熊本放送局記者・水俣学研究センター客員研究員）

第９回　11月28日「胎児性水俣病は今　放置された世代」
田尻雅美（熊本学園大学水俣学研究センター）
第10回　12月５日「海とともに生きる人びと」
井上ゆかり（熊本学園大学水俣学研究センター）
第11回　12月12日「水俣病認定基準問題の解説と今日の課題
－チッソ水俣病関西訴訟における責任論、病像論の帰結－」
三浦　洋（阪南中央病院内科・社会医療法人阪南医療福祉センター理事長）
第12回　12月19日「水俣病訴訟最高裁判決の意味と現在の課題」
山口紀洋（弁護士）
第13回　１月９日「水俣から考えること～一人の市民として」
坂本直充（前水俣病資料館長・水俣市役所）
第14回　１月16日「『中央』と『地方／地域』：差別と犠牲のシステム～福島・沖縄・水俣～」
宮北隆志（熊本学園大学教授・水俣学現地研究センター長）
第15回　１月23日「水俣学講義のまとめ」
花田昌宣（熊本学園大学教授・水俣学研究センター長）

Ⅳ．公開講座

第10期　公開講座「海外事情あれこれ　聞きたくてもなかなか聞けない話」
日時　2013年10月15日～11月12日
会場　水俣市公民館
後援　水俣市
第１回　10月15日「洪水後のタイ社会の現状」
吉村千恵（熊本学園大学社会福祉学部講師）
第２回　10月22日「韓国の文化と東アジア」
申　明直（熊本学園大学外国語学部教授）
第３回　10月29日「中国の変貌する親子関係と法」
陳　宇澄（熊本学園大学社会福祉学部准教授）
第４回　11月５日「国際結婚を考える－ロシア人と日本人の場合」
ムヒナ ヴァルヴァラ（熊本学園大学経済学部助教）
第５回　11月12日「原田先生と回った世界の水銀汚染－水俣条約のその後」
中地重晴（熊本学園大学社会福祉学部教授）

Ⅴ．公開セミナー

１．第20回　公開セミナー
第４回　水俣病を伝えるセミナー「どこに学び、なにを次世代に伝えるか」
日時　2013年８月９日～８月10日
会場　熊本学園大学水俣学現地研究センターなど
後援　水俣市教育委員会

８月９日
フィールドワーク海岸線を歩く

講演「伝えるために現場をあるく」
花田昌宣（熊本学園大学社会福祉学部教授、水俣学研究センター長）
「水俣病は終わっていない」金子スミ子（水俣病認定患者）
「第２世代として生きる」女島の患者さん

８月10日
授業実践の現場から
フィールドワークを終えての感想
授業実践のための意見交換

２．第21回　公開セミナー「タイの環境政策の20年：マプタプット工業団地の行政訴訟の観点から」
日時　2013年10月18日
会場　熊本学園大学14号館３階　第３会議室
講師　船津鶴代氏（独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所）

Ⅵ．シンポジウム

１．『さいれん』復刻版刊行記念シンポジウム「水俣に生きた労働者の軌跡」
日時　2013年６月28日
会場　くまもと森都心プラザホール
後援　柏書房・紀伊国屋書店・法政大学大原社会問題研究所

映像上映　「水俣に生きた労働者の軌跡」
記念講演　「企業と人間のいま、そして労働組合」佐高　信（評論家、週刊金曜日編集委員）
報告　「チッソの労働者の59年」山下善寛（元新日窒労組執行委員長）
「水俣病と労働者」石田博文（元新日窒労組執行委員）
「働く者の記録と水俣病」花田昌宣（熊本学園大学水俣学研究センター長）
挨拶　馬場　昇（元衆議院議員）

Ⅶ．研究会

１．水俣・芦北地域戦略プラットフォーム課題検討会
第33回　課題検討会
日時　2013年３月18日
会場　水俣学現地研究センター
テーマ　『協働』を実現する取り組みとは？
－円卓会議での「焼酎づくり」と「茶のみ場」から考える－
コーディネート　宮北隆志（熊本学園大学・水俣学現地研究センター長）
話題提供　「焼酎づくり」「茶のみ場」メンバー
第34回　課題検討会
日時　2013年８月５日
会場　水俣学現地研究センター

テーマ　水俣の給食牛乳容器を考える
－「中学校はなぜ250mlで紙パックなの？」
ゼロ・ウェイスト円卓会議のＢＧＯプロジェクトから－
コーディネート　宮北隆志（熊本学園大学・水俣学現地研究センター長）
話題提供　浦　万希子氏（水俣市学校給食センター所長）
田中利和氏（株式会社田中商店専務）
ゼロ・ウェイスト円卓会議　ＢＧＯプロジェクトメンバー
藤本延啓（熊本学園大学社会福祉学部講師）

第35回　課題検討会
日時　2013年11月11日
会場　水俣学現地研究センター
テーマ　『脱水銀社会』シリーズ①
水俣で『脱水銀社会』を考える
－「水銀条約外交会議」のふり返りと意見交流－
コーディネート　宮北隆志（熊本学園大学・水俣学現地研究センター長）
話題提供　谷　洋一氏（ＮＰＯ法人水俣病協働センター理事/水俣病被害者互助会事務局）
山下善寛氏（水俣の暮らしを守る・みんなの会）
中地重晴（熊本学園大学社会福祉学部教授）

第36回　課題検討会
日時　2014年２月３日
会場　水俣学現地研究センター
テーマ　『産廃計画跡地にメガソーラー？』－自然資源は誰のものか－
コーディネート　宮北隆志（熊本学園大学・水俣学現地研究センター長）
話題提供　坂本龍虹氏（水俣の暮らしを守る・みんなの会）
山下善寛氏（水俣の暮らしを守る・みんなの会）
藤本寿子氏（ガイアみなまた）

２．第９回　水俣病事件研究交流集会
日時　2014年１月11日～１月12日
会場　水俣市公民館

１月11日
１）水俣条約
「水銀条約の内容と日本の課題」中地重晴（熊本学園大学水俣学研究センター）
２）自由報告
「『命脈』から『生人』へ」飯嶋秀治（九州大学）
「小児性水俣病患者の介護の実態」田尻雅美（熊本学園大学水俣学研究センター）
３）水俣病の医学
「水俣病の感覚障害について：全身性感覚障害の観点から」鶴田和仁（潤和会記念病院）
「水俣病における運動失調」斎藤　恒（新潟医療生活協同組合　木戸病院）
「新潟水俣病患者の発症時期と魚喫食歴」萩野直路（新潟医療生活協同組合　木戸病院）

1月12日

1）2013年4月水俣病最高裁判決が拓いた水俣病事件史の新たな地平

「水俣病最高裁判決が拓いた水俣病事件史の新たな地平」

花田昌宣（熊本学園大学水俣学研究センター）

「溝口訴訟・最高裁判決が切り開いた地平」山口紀洋（溝口訴訟弁護士）

「Ｆ氏訴訟と補償協定締結拒否」康　由美（Ｆ訴訟弁護士）

「結審を迎える互助会訴訟の現状と課題」谷　洋一（ＮＰＯ法人水俣病協働センター）

「新潟三次訴訟と認定義務づけ訴訟」高島　章（新潟水俣病訴訟事務局）

「下田良雄さん不服審査会認定裁決の意味」伊東紀美代（ＮＰＯ法人水俣病協働センター）

「水俣病の地元、水俣では」坂本龍虹（水俣病被害市民の会）

「患者原告の発言」佐藤英樹、他原告、新潟

「ノーモア・ミナマタ第2次訴訟について」

中村輝久（ノーモア・ミナマタ第2次国家賠償等請求訴訟弁護団）

「政治解決による救済者、特措法救済対象者の新たな水俣病認定申請について」

三角　恒（弁護士）

3．ゼロ・ウェイスト円卓会議（茶のみ場作業部会）

第42回　茶のみ場作業部会

日時　2013年4月8日

会場　はつの保育園、水俣学現地研究センター

「地域交流施設」セルフ茶のみ場の運用等についての検討

蘇峰生家でのセルフ茶のみ場、湯の鶴での行動計画等の議論

第43回　茶のみ場作業部会

日時　2013年4月22日

会場　水俣学現地研究センター

茶のみ場関連イベント（5月開催）の具体的内容の検討

蘇峰蘆花生家でのセルフ茶のみ場開設について

第44回　茶のみ場作業部会

日時　2013年5月20日

会場　水俣学現地研究センター

第45回　茶のみ場作業部会

日時　2013年6月24日

会場　諸国屋本舗

湯の鶴での茶のみ場の取り組みについての具体的な議論

第46回　茶のみ場作業部会

日時　2013年7月29日

会場　おちこち庵

新たな「常設茶のみ場」の設置に向けた具体的な検討

第47回　茶のみ場作業部会

日時　2013年10月31日

会場　水俣学現地研究センター

茶のみ場作業部会をとりまく現状確認と整理

第48回　茶のみ場作業部会
　日時　2013年11月18日
　会場　水俣学現地研究センター
　　産業団地まつりのふり返りや「おちこち庵」さんへのサポート
　　今後の茶のみ場についてのフリートーク
第49回　茶のみ場作業部会
　日時　2013年12月16日
　会場　水俣学現地研究センター
　　お茶の美味しい淹れ方のワークショップ
　　年間を通した活動の力点について
第50回　茶のみ場作業部会
　日時　2014年１月14日
　会場　おちこち庵
　　茶のみ場で使用するロゴ・対象になるお店・しおりのバージョンアップについて
　　「マイボトル使用のみ」を茶のみ場の定義に含めていくことについて
第51回　茶のみ場作業部会
　日時　2014年２月17日
　会場　水俣学現地研究センター
　　出張茶のみ場コンセプトの明確化
　　「マイボトルスポット」について

４．チッソ労働運動史研究会
第24回　日時　2013年12月８日
　　会場　熊本学園大学14号館３階第３会議室
　　これまでの研究会でヒアリングしたものをどのように研究成果とするか
　　今後の研究会の方針についての検討
第25回　日時　2014年３月28日
　　会場　熊本学園大学水俣学現地研究センター
　　各分野の研究者から成果報告
　　「通史と身分制撤廃」花田昌宣（熊本学園大学）
　　「戦後の産業史」磯谷明徳（九州大学）
　　「水俣工場最終処分をめぐる闘争」鈴木　玲（法政大学）
　　「戦後の労使関係における安賃闘争の位置」富田義典（佐賀大学）
　　「労働者の生活過程」福原宏幸（大阪市立大学）
　　「安賃から恥宣言までの地域労働運動の主体性の変遷」石井まこと（大分大学）

Ⅷ．原田正純追悼展

期間　2013年１月12日～６月11日
会場　熊本学園大学水俣学現地研究センター

Ⅸ. 共催

第30回　天草環境会議『天草環境会議たった30年、されど30年の重み』

日時　2013年７月13日～７月14日

会場　苓北町コミュニティーセンター

主催　天草環境会議実行委員会「はえん風」

共催　熊本学園大学水俣学研究センター

企画協力　一橋大学自然資源経済論プロジェクト

７月13日

第１部　記念講演「天草環境会議30周年によせて」淡路剛久（日本環境会議）

第２部　天草環境会議30年の歴史

１）妻と子供と３人で始めた苓北火電建設反対運動

立石正伸（苓北火電に反対する連絡会事務局長）

２）苓北火電・公有水面埋め立て免許処分取消請求訴訟

津留雅昭・田尻和子（苓北火電訴訟弁護団）

３）天草環境会議のそれぞれの歴史

誰にも負けないみかん作り農家へ　松本繁喜（みかん農家）

羊角湾干拓事業中止とその後始末　（天草の自然を護る会）

第３部　各地からの報告

１）福島のその後　尾崎寛直（日本環境会議）

２）水俣…解決策はあるのか　花田昌宣（水俣学研究センター）

３）参加者の中から

７月14日

第４部　現地検証

テーマ　電源立地が住民の生活にもたらすもの

大気汚染や海洋汚染による自然界の変化

交付金の使途と何が変わったのか（町がよくなったのか）

第５部　現地検証総括集会

１）苓北火電の影響についての現地検証の意見交換

①　苓北火電の現状と地域住民に与える影響　塚田　達

②　大気汚染や温排水等の海洋汚染が自然界に与える影響

荒木哲郎（苓北火電に反対する町民の会）

③　電源交付金の使われ方や町の財政について　松本繁喜（苓北火電に反対する町民の会）

④　石炭灰の処理問題　田嶋　正

⑤　その他　野口昭信（天草の自然を護る会）、山下英俊（一橋大学）

２）天草の自然の現状とあるべき姿について　吉崎和美（天草の自然を護る会）

３）これからの天草環境会議のありようについて　野口昭信（天草の自然を護る会）